

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 放課後等デイサービス ピクシー | | | | | 公表日 令和8年1月23日 |
|----------|---|----|-----|--|---|---------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | | 年齢や活動に対しては狭く感じることもあるため、活動内容の工夫を行ってまいります。 | |
| | 2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | | | 基準以上の配置はされているが、今後のよりよい支援に繋げるために増員を予定しております。 | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | | | 玄関先の階段や、室内的段差があるため、今後利用児童の特性に応じて検討してまいります。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | | | | |
| | 5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | | 必要に応じて個別の部屋を使用できるよう個室を要しております。 | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | | PDCAサイクルを心掛け、ミーティングにおいて現状把握・課題の抽出・業務の見直しを行っております。 | 今後もPDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めてまいります。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | 評価集計後、全職員で共有し改善案の検討を行っております。 | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | 非常勤職員の就業時間を、サービス提供時間より大幅に早め、職員間のコミュニケーションの時間を設け、意見を出しやすい環境作りに努め、ミーティング時に共有や改善案を検討しております。 | 今後も意見を出しやすい環境を行い、ミーティングでの意見交換等を充実させ業務改善に努めてまいります。 | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | 外部評価の実施については今後の検討課題としてまいります。 | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | 法人内で、毎月の研修担当者・報告者を決め、担当者進行で事業所内研修を行っております。 | 都度、外部研修の案内を行い、参加し学ぶことで職員の資質の向上へ努めてまいります。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | 見学・契約時に説明をさせていただき、施設内へ掲示・ホームページへの掲載を行っております。 | | |
| | 12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | 適切なアセスメントができるよう、職員全員で分析しております。 | 今後も包括的な支援と具体的な支援計画の作成に努めてまいります。 | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | 個別評価を全職員で取り組み、現状と課題を抽出し、最善の利益を考慮した検討を行っております。 | 職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会を今後も増やしてまいります。 | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | ミーティング時の共有、書庫内の個別支援計画書は全職員確認できる状態にしております。 | | |
| | 15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | | | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | 放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画書に反映・設定しております。 | 今後も児童の特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定してまいります。 | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | 前の月に、全職員で検討する時間を設け、立案しております。 | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | 前年度の活動報告書を活用しながら、固定化しないように取り組んでおります。 | | |
| | 19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | | 今後も個々のニーズと集団におけるニーズを踏まえた支援計画を作成し、支援に努めてまいります。 | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | サービス提供前にミーティングを行い連携を図っております。 | | |

| | | | | | |
|--|----|---|---|--|---|
| 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 21 | 6 | 1 | 職員の終業時間が異なる為、支援終了後ではなく翌日に振り返りを行っております。 主観を含めた気づきを記入できるノートを全児童個別に設けております。 | 終業時間の異なりから、今後も支援終了後の打合せは難しいが、ノートの活用や翌日の振り返りにて連携を図ってまいります。 |
| | 22 | 7 | | 日々の提供記録とは別に、主観を含めた気づき等を記入できる全児童個別のノートを活用し、支援の検証や改善に繋げております。 | |
| | 23 | 7 | | 6か月に1度見直しを行っております。 必要時には随時見直しを行っております。 | |
| | 24 | 7 | | | |
| | 25 | 7 | | 日々の活動の中で、自己選択する場面を多く設けながら支援しています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 7 | | 児童発達支援管理責任者や専任者を派出し参画しております。 | |
| | 27 | 7 | | 必要に応じて関係機関との連携を図っております。 | |
| | 28 | 7 | | 保護者の方を通じて情報を得ていますが、必要時には直接連絡調整を行っております。 | |
| | 29 | 7 | | 相談支援専門員主催の就学前のサービス担当者会議に参加し、情報共有や相互理解に努めています。 | |
| | 30 | 2 | 5 | | 今までに対象者はいなかったが、今後に備えて準備を進めてまいります。 |
| | 31 | 6 | 1 | 児童発達支援センターが地域に向けた研修を実施した際には参加しております。 | |
| | 32 | 7 | | 地域の子どもセンターの行事や、地域の行事への参加や子ども食堂を活用させていただき、交流の場を設けております。 | |
| | 33 | 7 | | 児童発達支援管理責任者が参加しております。 | |
| | 34 | 7 | | 日々の送迎時や、LINE等を活用しながら共通理解を図っております。 | |
| | 35 | 6 | 1 | 外部で行われる研修や勉強会の案内を画面にて行っております。 | 今後、ニーズに合わせて、事業所内の研修や勉強会等を検討してまいります。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 7 | | 契約時に説明をさせていただいております。また、不明な点は随時説明させていただいております。 | |
| | 37 | 7 | | 送迎時やLINE等を活用し、お話を伺い意向を確認する機会を設けております。 | |
| | 38 | 7 | | | |
| | 39 | 7 | | モニタリング時に応じております。 また、適宜応じております。 | |
| | 40 | 3 | 4 | | 必ずしも望まれている方ばかりではないため、慎重に検討してまいります。 |
| | 41 | 7 | | 相談や申し入れがあった場合、電話等で迅速かつ適切に対応するよう努めています。 苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明させていただいております。 | |
| | 42 | 7 | | 毎月のお便りやインスタグラムを活用して発信しております。 | |
| | 43 | 7 | | 個人情報保護方針に基づいて取り組んでおり、個人情報が記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しております。 また、掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう十分注意しております。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | それぞれの児童の意思表明の仕方を全職員で理解し、相互の伝達法に配慮しております。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 4 | 事業所としての行事への招待は行っていませんが、見学等は随時受け付けております。 | |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | 利用契約時に説明させていただいております。 また、いつでも閲覧できるよう玄関内の棚や事務所に配置しております。 各マニュアルに基づいて訓練を実施し、見直しや報告書の作成を行っております。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | 業務継続計画を作成し、計画に基づいて定期的に避難訓練・机上訓練・備蓄品の確認を行っております。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 7 | | 利用開始前のアセスメント等で、保護者様への確認を行っております。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 1 | 契約時に食物アレルギー調査票を提出して頂き活用しております。 | 現在までに対象者はいないが、今後対象児童が利用になる際には、医師の指示書に基づいて対応してまいります。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | 安全計画を策定し、それに基づいて事業所内の研修や訓練・施設内外の点検を行っております。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | 安全計画に基づいて取組み、訓練等をお便りやインスタグラムにて周知させていただいております。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | 発生時の共有とは別に、毎月の会議時に前月のヒヤリハット・事故報告書の振り返りを行い、再発防止に向け検討しております。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | 虐待防止委員会を設立し、研修等を行うことで適切な対応へ繋げております。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | 利用開始前に説明を行い、個別支援計画書に記載し了解を得ております。 身体拘束適正化委員会を設立し、研修等を行っております。 | 現在までに身体拘束を行った事実はないが、今後も向けて継続して研修等を行ってまいります。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス ピクシー | | | | | | 公表日 令和 8 年 1 月 23 日 | | 利用児童数 25人〔20家庭〕(令和7年12月10日時点) | | 回収数 18家庭 | |
|----------|----|---|----|-----------|-----|-------|---|---|--|-------------------------------|--|----------|--|
| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | | | ご意見を踏まえた対応 | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 15 | 2 | | 1 | ・広々と明るく活動しやすい空間が確保されていると思います。 ・食事 学習 活動それぞれの用途に合わせたスペースが確保できている。 | 国は設置基準以上で確保しています。 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 15 | | 2 | 1 | ・足りない日があるように感じます。 ・どのくらいの人数配置が詳しいところが分からないが、適切な人数を置いていると思う。 | 日頃から基本人員以上で支援させて顶いていますので、職員の休みの関係等で基本人員での支援体制時には足りなく感じる日があるかもしれません。今後も専門性を維持できるよう児童分野での経験と専門性を備えた人員配置を行ってまいります。 | | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 16 | 1 | | 1 | ・細やかな配慮が行き届き色々な事が可視化され、一目で分かりやすく生活しやすい環境だと思います。 ・見学させて頂いた時に拝見した時は、環境づくりができていたと感じた。 | 玄関先の階段や室内の段差など、バリアフリー化されていない箇所が多数ある為、用途に合わせてバリアフリー化を検討していきます。 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 17 | | | 1 | ・いつも明るく清潔な環境を整えて下さっていると思います。 ・整理整頓がきちんとなされていたイメージがある。 | 当日の利用開始前に、当日出勤職員全員での清掃を行い、心地よく過ごして頂けるよう心掛けています。 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 16 | 1 | 1 | | ・保護者自身が、療育を上手く利用出来ていないかも、療育を理解していない面もあるかもです。 ・一人一人合ったプログラムで寄り添って下さっています。 ・できていると思う。 | これからも、特性に応じた専門性のある支援を心掛けてまいります。 | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 15 | 2 | 1 | | すいません。内容を上手く理解できておりません。 | 支援プログラムに沿った支援を心掛けております。 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 15 | 2 | 1 | | できていると思う。 | 活動等の場面の観察や発達検査の報告書などを通じて児童の成長やニーズを把握し、保護者の方のニーズを含めた支援計画を作成しています。 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 15 | 2 | 1 | | ・いつも細やかな所まで配慮して頂き無理のないステップで目標に向かえる計画を立てて下さっています。 ・できていると思う。 | | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 17 | | | 1 | できていると思う。 | | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 14 | 3 | | 1 | ・イベントも含めて家庭では経験出来ない事も沢山ありがとうございます。 ・いろんなイベントがあり、通所している本人も楽しんでいて良いと思います。 | | | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 14 | 1 | | 3 | 市の子どもセンター等へのイベントの参加もよくされていると思います。 | 地域交流を目的として、子どもセンターさんのイベントに多く参加させていただいている。 | | | | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 17 | | | 1 | 管理者の方から説明がありました。 | 運営規定の内容を踏まえた重要事項説明書・契約書を使用し説明させていただいている。支援プログラムについては事業所内の掲示・ホームページ上で公表しています。 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 15 | 2 | 1 | | | | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 12 | 4 | 1 | 1 | | 今後も、地域で行われている研修会等の案内をお配りさせていただきます。 | | | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 14 | 3 | | 1 | ・土曜日に利用することがたまにありますが送迎が出来ない場合は前もって伝えて欲しいです。 ・LINE等も通じて子供の状況を共有できてありがたいです。 ・毎回の連絡帳での様子、月1回の利用参加時の写真での様子等見られるので有難いです。 | 基本、指定利用日以外の追加利用時には、ご家庭で送迎のお願いをしております。 | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 14 | 3 | | 1 | | 半年に一度の計画の見直し時以外にも、ご相談等ははいつでも受け付けております。 より相談しやすい体制整備や周知に努めてまいります。 | | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 15 | 2 | | 1 | 送迎時に子どもの様子等細やかにお伝え頂き安心出来ます。 | 児童を中心とした視点を持ち、児童の最善の利益を優先とすることを日頃からおかけしております。 今後も共感的な関りの中で、児童や保護者の方の安心して通所して頂けるよう心掛けてまいります。 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7 | 4 | 2 | 5 | 参加できる機会等があれば情報共有や意見交換が出来たり良いと思う。 | 必ずしも望まれている方ばかりではないため、今後検討し、提供できたらと思っております。 | | | | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 14 | 1 | 2 | 1 | 最初、ピクシーさんを利用したいと申し入れから、利用までの段取りもスムーズであり、迅速に対応して頂きました。 | 相談や苦情窓口については、契約時に重要事項説明書を用いて説明させていただいている。 また、事業所以外にも市町村の相談・苦情窓口も掲載しております。 | | | | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 14 | 3 | 1 | | ・サインして終わるのが多いのでどうなんですかね？下の子のお迎えの時間が被るから何とかして話せる機会を作ろうと思ってるのですが... ・できていると思う。 | 児童の発達状況に応じて一人一人に合わせたコミュニケーション手段を検討しております。 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 17 | | | 1 | 小まめにSNS等やLINE等でも活動の様子等を発信して頂いているので有難いです。 | 毎月お配りさせておりまビクシー便りやLINE・Instagramにて報告させていただいている。 自己評価の結果にしましては、ホームページにて掲載しております。 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 15 | 1 | 1 | 1 | 写真等についての許可も最初に了承を得てから等配慮されている。 | 契約時に説明させて頂いております、個人情報保護方針に基づいて取り組ませていただいている。 また、個人情報が記載された書類等は鍵付きのキャビネットにて保管しております。 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|-----------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 14 | | 1 | 3 | できていると思う。 | 利用契約時に、各マニュアルについての説明をさせていただき、各訓練につきましては、毎月お配りさせておりまビクシー便りや、インスタグラムにて報告させていただいています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 14 | 1 | 1 | 2 | | 定期的な訓練を行い、内容につきましては、毎月お配りしております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 14 | 1 | | 3 | できていると思う。 | 安全計画を策定し取り組んでおります。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 13 | 1 | 1 | 3 | | フローチャートに沿った迅速な対応を心掛けでまいります。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 17 | | | 1 | 毎回の利用を楽しみにしています。 | 今後も安心感をもって通所して頂けるよう声掛けでまいります。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 16 | 1 | | 1 | 笑顔で参加することができています。 | 今後も楽しみに通所して頂けるよう活動内容の検討等を声掛けでまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 17 | | | 1 | 他の事業所にはなかなかない活動の特色があると思います。 | 今後も満足して頂けるよう、各研修への参加等を行い支援者のスキルアップに繋げてまいります。 |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-------------------------------------|------|--------|------------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス ピクシー | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7 年 12 月 10 日 ~ 令和 7 年 12 月 24 日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20家庭 | (回答者数) | 18家庭 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7 年 12 月 10 日 ~ 令和 7 年 12 月 24 日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8人 | (回答者数) | 7人（長期休みの為 未回答1人） |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8 年 1 月 15 日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | ルーティンワークと基本活動の実施 | 通所毎のルーティンワークに、自立支援や認知力・基礎学力の向上につながるツールや仕組みを取り入れ、日々定着を図っています。 活動では、SST・運動・知育・選択のいずれかを大枠と設定し、内容が固定化しないよう配慮しつつ、ねらいを明確にした活動を提供しております。 | 児童の特性にさらに寄り添った支援が提供できるよう、専門職員の充実を目指しております。 |
| 2 | 自己選択・意思表出を促す支援 | 自己選択・自己決定の力を育む機会として、毎日のおやつ選び等を取り入れて児童一人ひとりの意思を尊重するとともに、意思の表出につなげることを目的とした支援を提供しております。 | 意思表出に関して、SSTの中でも積極的に取り組んでまいります。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 専門職体制の充実に向けた課題 | 現在も専門的支援を実施しているが、今後さらに多角的視点に基づき、個々のニーズに即した支援を提供していくには、専門職種の拡充が不可欠と考えております。 | 専門性を有する人材の確保を最優先の課題としつつ、資質向上につながる研修等を積極的に受講することで、職員全体の支援力の底上げを図っていきたいと考えております。 |
| 2 | 医療的ケアが必要な児童の受け入れができない。 | 看護師が在籍していないため。 | 今後、必要に応じて検討してまいります。 |